

# 温 泉 分 析 書 別 表

1 源 泉 名 :	
2 源 泉 所 在 地 : 北海道岩内郡岩内町字野東258番9	
3 温 泉 分 析 申 請 者 : 岩内郡岩内町字万代38番地の1 株式会社 ひまわり 代表取締役 岡田 久美	
4 泉 質 : ナトリウム-塩化物強塩泉 (高張性中性高温泉) (旧泉質名:強食塩泉)	
5 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁忌症 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)。
	適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病。
飲 用	禁忌症 腎臓病、高血圧症、甲状腺機能亢進症、その他一般にむくみのあるもの。
	適応症 慢性消化器病、慢性便秘。
浴用、飲用の 一般的注意事項	<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動浴の場合は別として、一般には安静を守ること。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高血圧の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴(42℃以上)を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」をこし易い人は逆に浴後裏水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他</p> <p style="text-align: center;">適宜希釈して、食後飲用すること。 (ヨウ素含有)</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p>
平成 17 年 12 月 26 日	
決定者 北海道立衛生研究所長 本間 寛	



温泉分析書

道業検温第 727号							
1 申請者	岩内郡岩内町字万代38番地の1 株式会社 ひまわり 代表取締役 岡田 久美						
2 源泉名および湧出地	温泉 (源泉名ひまわり2号泉) 北海道岩内郡岩内町字野東258番9						
3 湧出地における調査および試験成績							
(イ) 調査および試験者	財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 阿部 憲 慎						
(ロ) 調査および試験年月日	平成 17 年 12 月 8 日						
(ハ) 泉 温	: 62.0℃ (気温: -3.4℃) (ニ) 湧出量 : 322 ℓ/min(動力揚湯)						
(ホ) 知覚的試験	無色 澄明 強塩味 ほとんど無臭						
(ヘ) pH 値	6.7 (ロ) ラドン (Rn) :						
4 試験室における試験成績							
(イ) 試験者	財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター 吉田 博文						
(ロ) 分析終了の年月日	平成 17 年 12 月 21 日						
(ハ) 知覚的試験	弱黄色 澄明 褐色の沈殿物有り 強塩味 ほとんど無臭 (採水後6時間)						
(ニ) 密度	1.0156 (20°/4℃)						
(ホ) pH 値	7.15						
(ヘ) 蒸発残留物	23.42 g/kg (180℃)						
5 試料 1 kg 中の成分 : 分量および組成							
(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン	H <sup>+</sup>			フッ素イオン	F <sup>-</sup>	-	-
ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	7333.	319.0	79.10	塩素イオン	Cl <sup>-</sup>	12880. 363.3 90.80
カリウムイオン	K <sup>+</sup>	336.5	8.61	2.13	水酸イオン	OH <sup>-</sup>	
アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	7.6	0.42	0.10	硫化水素イオン	HS <sup>-</sup>	-
マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	637.0	52.42	13.00	チオ硫酸イオン	S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	-
カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	448.6	22.39	5.55			
アルミニウムイオン	Al <sup>3+</sup>	-	-	-	硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	1499. 31.21 7.80
マンガンイオン	Mn <sup>2+</sup>	2.8	0.10	0.02	炭酸水素イオン	HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	927.7 5.37 1.34
第一鉄イオン	Fe <sup>2+</sup>	9.6	0.34	0.08	炭酸イオン	CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	0.1 0.00 0.00
第二鉄イオン	Fe <sup>3+</sup>	0.5	0.03	0.01	臭素イオン	Br <sup>-</sup>	16.2 0.20 0.05
					ヨウ素イオン	I <sup>-</sup>	2.3 0.02 0.00
計		8776.	403.3	100.	計	14730.	400.1 100.
(イ) 遊離成分							
非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
メタ珪酸	H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	178.2	2.28				
メタ硼酸	HBO <sub>3</sub>	18.1	0.41				
計		196.3	2.69				
溶存物質 (ガス性のものを除く)	23.70 g/kg						
溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)					
遊離二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	57.0	1.30				
遊離硫化水素	H <sub>2</sub> S	0.0	0.00				
計		57.0	1.30				
成分総計	23.75 g/kg						
(ニ) その他微量成分	総ヒ素 : 0.002mg/l						
	アルミニウム、カドミウム、銅、亜鉛、鉛及び総水銀 検出せず。						
6 泉 質	ナトリウム-塩化物強塩泉 (高張性中性高温泉)						
7 禁忌症、適応症	「温泉分析書別表」中5に記載する。						
平成 17 年 12 月 22 日		登録分析機関 登録番号 北海道第2号		関 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター			